

令和6年京都八坂神社御田祭

月 日 令和6年5月19日(日) *雨天決行

時 間 午前10時～ (約1時間)

場 所 尾長野区内の京都八坂神社神饌田及び斎場(京丹波町下山下地100番地他)

内 容

- 【式典行事】 10時～ 斎場特設大テント内で神事
10時15分頃～ 神饌田で雅楽演奏、巫女の舞の中、早乙女による田植え
- 【奉納行事】 10時30分頃～ 祇園獅子舞奉納、祇園八坂神社ガールスカウトの舞、
丹波八坂太鼓奉保存会奉納演奏
- 【式典行事】 10時45分頃～ 斎場特設大テント内に戻り神事
50周年の感謝状贈呈(八坂神社から尾長野区長へ)
記念撮影(来賓、関係者、主催者等)

- 本年は、尾長野区全体で取り組みを行って50周年という記念すべき節目を迎えます。
*実際は、尾長野の地で開催されて54年。(当初の4年間は、氏子数人で開催)
- 雨天の場合は、「式典行事」のみで「奉納行事」は執り行なわれません。
- 「式典行事」中のドローン撮影は禁止されています。
- 撮影は、定められた場所で行います。(テントの裏手等を通行しないこと)
- 早乙女の田植えは、雅楽と巫女舞に合わせて行いますが、雅楽・巫女舞終了後、撮影用にしばらく田植を行います。

京都八坂神社御分社(ごぶんしゃ)にあたる尾長野八坂神社の「尾長野の地でのお田植行事」が開催されて54年。「京都八坂神社御田祭」として開催されて50年の節目を迎える。

昨年からコロナ前の本来の形に戻る。(令和2年3年は関係者にのみによる神事と田長による田植えを行う。令和4年は神事と早乙女の手植えの式典行事のみ。)

京都八坂神社神職の雅楽生演奏で八坂神社巫女による豊栄舞(とよさかまい)の中、田長から早乙女に苗が渡され、早乙女8人による手植えが行われる。

稲は、7月の祇園祭の神幸祭、還幸祭の神輿に取り付ける青稲として尾長野区から奉納される。また、12月には京都八坂神社本殿に取り付ける長さ3.5m×3本の大しめ縄他10数本が尾長野区総出で結い上げられ京都八坂神社に奉納される。